

2018年10月3日

環境活動レポート



®環境省

エコアクション21

認証・登録番号 0002369

Vol.12 H29.10 ~ H30.9
有限会社 クラッシングセンター

《ご挨拶》

有限会社クラッシングセンターは平成5年創業以来一貫して産業廃棄物中間処理施設として歩んでまいりました。

出来る限りお客様のニーズに応え、また信頼される企業を目指しております。この企業の変革は自然環境に与える影響が大きいことを受け止め、次ページの環境方針を基に環境活動を展開し、地球環境にやさしい企業としてあるべく、環境への配慮も企業活動の大きな役割としてとらえ、新たな一歩をあゆみだしました。

以下、「環境活動レポート」としての取り組みをまとめましたので、私達の取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に活かして行きたいと存じます。

有限会社 クラッシングセンター

代表取締役社長 池田 清

1. 2. 組織の概要、及び対象範囲

1. 事業者及び代表者名

有限会社 クラッシングセンター

代表取締役社長 池田 清

2. 所在地

伊勢崎本社（破碎）

〒379-2214 群馬県伊勢崎市下触町435-1

前橋工場（収集・運搬 積替保管）

〒371-0854 群馬県前橋市大渡町1-19-14

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表取締役社長 池田 清

総務部長 金山 博美

EA21推進事務局 内山 知彦 木間 智加志

連絡先 TEL 0270-63-4761
FAX 0270-63-4538

4. 事業の内容

設立年月日 平成5年5月6日

資本金 300万円

売上高 326 百万円 従業員 13人

処理施設の種類 産業廃棄物中間処理
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

処理する産廃の種類 アスファルト廃材 コンクリート廃材 廃ガラスびん

許可番号（群馬県） 伊勢崎本社 01020008132 前橋工場 01010008132
中間処理（破碎） 収集運搬・積替え保管

許可年月日 平成5年9月9日 平成29年12月3日

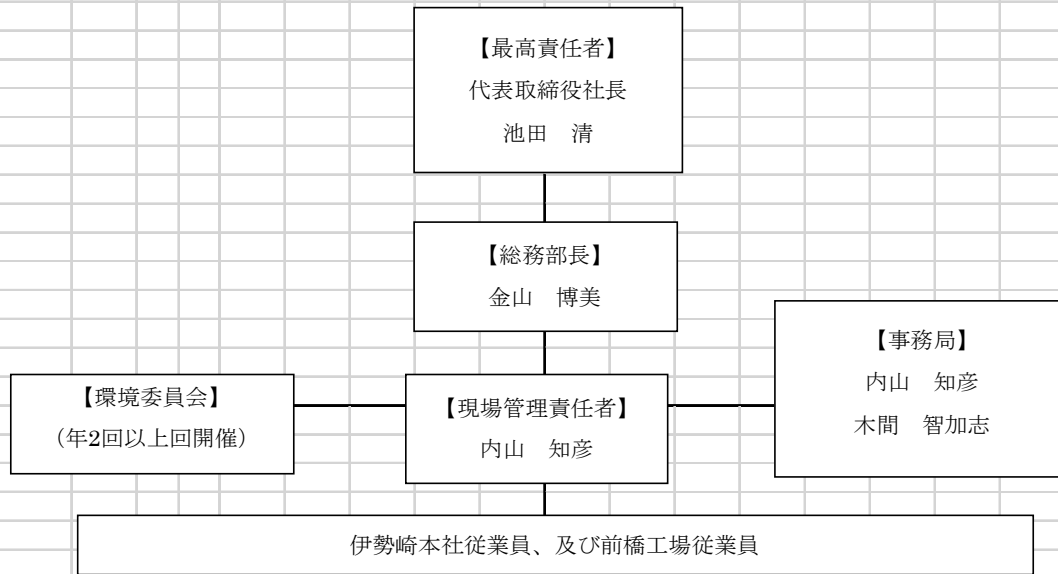
許可有効期限 平成35年9月8日 平成34年12月2日

廃棄物年間受入量 アスファルト廃材 95,830t
(H29年度) コンクリート廃材 97,296t
廃ガラスびん 78t

廃棄物収集運搬量 アスファルト廃材 15,499 t (前橋工場から伊勢崎工場搬入分)

中間処理後の出荷 195,018t 他社からの仕入れ分も含む

E A 2 1 推進体制



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役社長 池田 清】</p> <p>① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器設備・技術技能を含む）を準備する。</p> <p>③ 環境方針を制定する。</p> <p>④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【内山 知彦】</p> <p>① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【内山 知彦 ・ 木間 智加志】</p> <p>① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・で構成し、年2回環境管理責任者が招集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

3、環境方針

基本理念

**企業活動を通じて、有限会社クラッシングセンターとその社員、
関連する企業と地球環境に配慮した事業活動に努めます。**

基本方針

当社は再生アスファルト用再生骨材、路盤用の再生砕石をメインとした再生土木材料の専門会社として、顧客の皆様に喜んでいただける商品を提供すると共に、環境に配慮した商品・サービスをお届け致します。

当社にふさわしい環境マネジメントシステムを構築し、全員参加により継続的改善へ取り組み、環境汚染の予防と環境保全に努めます。

環境関連の法律・規制と当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

この方針に沿って環境目的及び目標を設定し、かつ見直しを行い、環境負荷の少ない企業活動を目指します。

次の課題を掲げ、全員一丸となって取り組みます。

(1)省資源・省エネルギー

(2)紙の使用量の削減

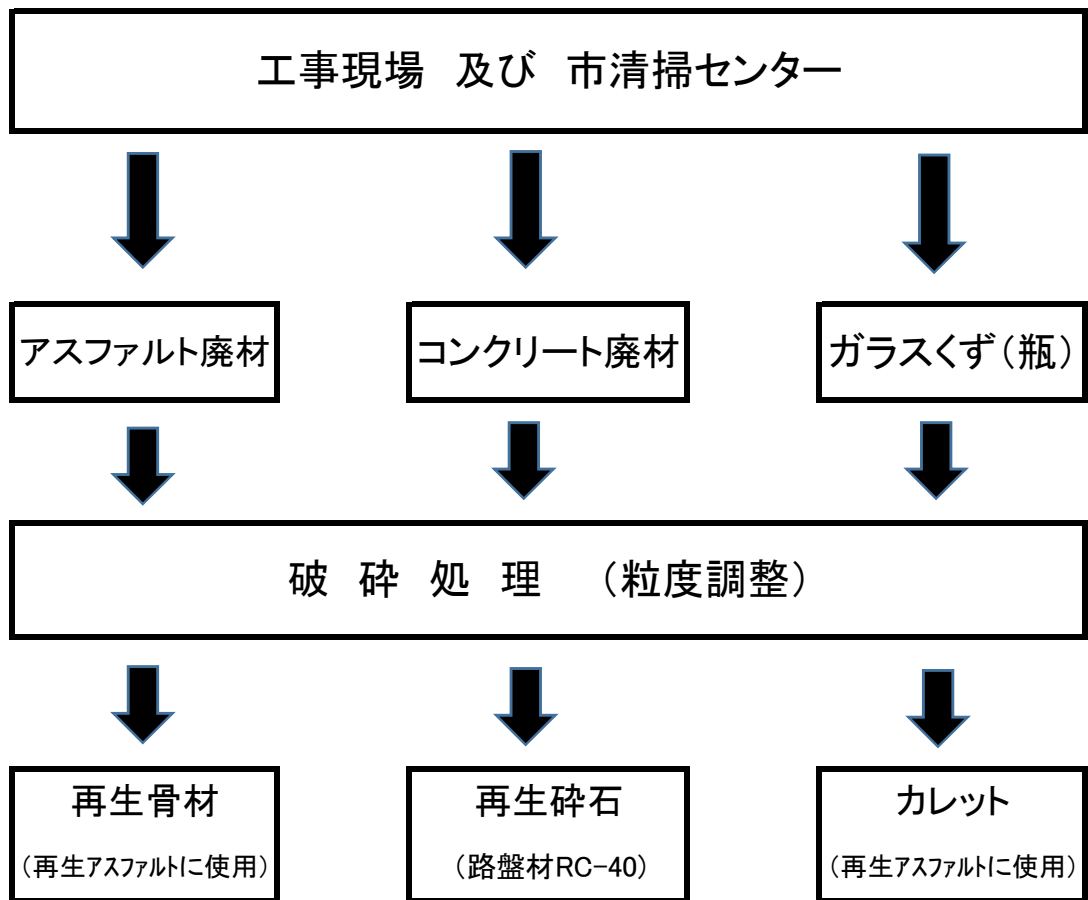
この環境方針は、当社の全従業員に周知徹底し、環境に関する意識の向上を図るとともに、外部に公開します。

平成29年10月4日

有限会社 クラッシングセンター

代表取締役 池田 清

有限会社 クラッシングセンター 処理フロー図



処理能力 1000 t/日

処理方式 破砕

重機保有台数 ホイールローダー4台、パワーショベル4台、散水車1台、清掃車1台

保管上限量 119.9m² 172.7m³

事業計画の概要

群馬県にて発生するアスファルト廃材、コンクリート廃材、ガラスびんを受入し、再生アスファルト混合物用再生骨材及び路盤用再生砕石、ガラスカレットを製造し再資源化を行ってきた。社会ニーズに適応する質の高い再資源化施設の構築を図る。

環境活動計画

No.	環境目的		今年度の目標	管理項目 実施事項	月別実行計画及び進捗管理												担当部署	責任者			
	項目	長期目標 (H30年度)			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月					
					各機指定稼働時間毎																
1	二酸化炭素排出量の削減 (受入、販売合計1tあたり)	電力、軽油使用料について、特に注視して削減できるような努力をする	可能な限り削減に努める	建設機械のムダなアイドルをなくす	○		○		○		○		○		○		場内	木間			
				オイル交換時、建設機械のメンテナンスを行う(フィルターなど)															場内	木間	
				空調温度適正化・表示	○						○									EA21事務局	内山
				照明・PC電源不要時のOFFが出来ているかチェック	○		○		○		○		○		○		○			EA21事務局	内山
				エコドライブが出来ているかチェック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務課	内山
				原因分析と削減方法の検討											○	EA21事務局	内山				
2	廃棄物の削減	削減に努め、排出される廃棄物は全量リサイクルする	可能な限り削減に努める	取引先に対して搬入される廃材に食べかす				○							○		EA21事務局	内山			
				木くずなど入らないよう働きかける																	
				産廃業者、排出業者との契約書の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務課	内山
				マニフェストの管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務課	阿部
				裏紙使用ルールの徹底	○		○		○		○		○		○		○			総務課	内山
				原因分析と削減方法の検討											○	EA21事務局	内山				
3	水資源投入量の削減 (受入、販売合計1tあたり)	可能な限り削減する	可能な限り削減に努める	毎月のメータを確認する(漏水防止)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	場内	木間		
				節水表示	○						○									EA21事務局	内山
				蛇口の閉め忘れをなくす	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	EA21事務局	内山
				原因分析と削減方法の検討															○	EA21事務局	内山
4	グリーン購入	積極購入	積極購入	全ての備品、消耗品について、エコマーク商品の優先購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全社員	内山		
5	使用済み鋼材の再利用	全量再生	全量再生	打撃板等、使用済みの鋼材のリサイクル(マンガノ、ハイクロ) コンクリート処理後にできる鉄くずのリサイクル			○										場内	木間			
6	近隣への配慮	粉塵対策 道路清掃	粉塵対策 道路清掃	定期的な散水(散水設備稼働 散水機での散布)	毎日行う												場内	木間			
				ロードスイーパーでの道路清掃(毎日)																	

5. 環境目標とその実績

当社に於ける平成29年度(H29.10/1～H30.9/30)の環境負荷実績を把握した
可能な限り環境負荷の低減に努め、削減が難しい部分については、維持していく。

主要な環境目標と環境負荷・実績

取扱い量:百トン

環境目標項目	管理実施項目	単位	H26年度	H29年度	H29年度	H30年度
			基準	目標	実績	長期目標
二酸化炭素排出量の削減	電力の削減	kwh/百トン	111	可能な限り削減に努める	119	電力、軽油使用料について、特に注視して削減できるように努力する
	軽油使用の削減	ℓ/百トン	36.7	可能な限り削減に努める	31.8	
	二酸化炭素排出量	kg-co2/百トン	161	可能な限り削減に努める	155	
廃棄物の削減	廃棄物量	t	1.2	削減に努める	1.2	削減に努める
水資源投入量の削減	水資源量	m	10184	削減に努める	4756	削減に努める
グリーン商品の購入	積極購入		コピ機、事務用備品等購入	積極購入	ボールペン等事務用品購入	積極購入
使用済み鋼材、鉄くずの再利用	全量リサイクル	t	385	全量再生	460	全量再生

※ 二酸化炭素排出係数は、0.550(kg-co2)オリックス係数を使用
平成30年度より東京電力へ変更

※ 有機溶剤 ディップソールを使用している.PRTR法には該当しないが使用量は把握しておく

二酸化炭素 排出量の推移

単位 kg-CO2 ÷ 引取量+販売量				
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
150	161	161	153	155

CO2総排出量

基準年 平成26年
769,379 kg-co2

平成29年

610,666 kg-co2

6. 環境活動の取組と評価

取組計画	評価
<p>1.二酸化炭素排出量の削減 平成26年度の数値を基準にし、現状維持を目指す</p> <p>『目標達成手段』 1、電力の削減 処理工程がスムーズに行くように監視する 全ての器具の不使用时電源オフ 2、重機の無駄なアイドリングをなくす 軽油使用量の削減、省エネ運転</p>	<p>結果は良し。電力については基準を少しオーバーしてしまったが、おおむね良し。重機の省エネ運転、節電等、効率的に使えた結果。</p> <p>次年度の取組み 当社では軽油削減が一番の課題であるので、省エネ運転を徹底する。</p>
<p>2.廃棄物の削減 26年度の数値を基準にし、可能な限り削減したい</p> <p>『目標達成手段』 1、事務所のゴミなど、なるべく出さないようにする。</p>	<p>結果は良し。 取り組み当初よりあまり変動する数値ではないので、このままの数値を継続していく。</p> <p>次年度の取組み 極端に増えないように取り組んでいく。</p>
<p>3.水資源投入量の削減</p> <p>『目標達成手段』 節水に努める</p>	<p>節水はもちろんのこと、場内の散水もスプリンクラー、散水車を使い効率的に行えた結果だと思う。</p> <p>基準の年は、重機バケツに水を貯め散水していたが、27年度より散水車を購入し効率的に行えている。</p> <p>次年度の取組み 本年度同様、効率的に行う。</p>
<p>4.グリーン購入の推進 『目標達成手段』 備品類の購入の際は積極的にエコ商品を購入する</p>	<p>例年同様、積極的に購入できた。 ボールペン、付箋、ファイル等</p> <p>次年度の取組み 今年度同様、積極的にエコ商品の購入。</p>
<p>5.鉄くず、使用済み鋼材のリサイクル</p>	<p>いままで通り全量リサイクルできた。</p> <p>次年度の取組み 今年度同様、全量リサイクル。</p>

7. 環境関連法規制の遵守状況

当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守状況	日付	確認者
大気汚染防止法	遵守	H30.6.16	内山
浄化槽法	遵守	H30.6.16	内山
騒音規制法	遵守	H30.6.16	内山
振動規制法	遵守	H30.6.16	内山
廃棄物処理法	遵守	H30.6.16	内山
労働安全衛生法	遵守	H30.6.16	内山
消防法	遵守	H30.6.16	内山
道路車両運送法	遵守	H30.6.16	内山
オフロード法	遵守	H30.6.16	内山
自動車リサイクル法	遵守	H30.6.16	内山
フロン排出抑制方	遵守	H30.6.16	内山
群馬県 生活環境を保全する条例	遵守	H30.6.16	内山
伊勢崎市条例	遵守	H30.6.16	内山
土壌汚染対策法	遵守	H30.6.16	内山
太陽光発電所の維持管理に関する法律	遵守	H30.6.16	内山

※ ダイオキシン類対策特別措置法 については、非該当である事を確認済

30年 6月 16日の環境関連法規遵守状況の確認において
環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

年を重ねるにつれて削減幅も小さくなり、現状維持を続ける項目も多くなってきた。
今年も取扱量も減り売上高は減ったが、取扱量が減った分、重機のムダな稼働が
減らせ軽油削減につながった。この点については特に良かったと思う

今後も、セミナーに参加するなどして、様々な情報収集をし継続的に取組み
無理のない中での削減を目指していきたい。